



【先週 4月10日～4月16日の外食の出来事】

■ドトル日レス、営業赤字 前期 黒字予想一転、配当は増加

2022年2月期の営業損益が17億円の赤字(前の期は43億円の赤字)になったと発表した。新型コロナウイルス禍が長引き、30億円の黒字としていた従来予想から一転し、2年連続の営業赤字となる。

■ハイデイ日高、2022年2月期(2021年3月～2022年2月)の業績

2022年2月期 通期(2021年3月～2022年2月)の業績を発表。売上高264億200万円(対前年同期比10.7%減)、営業損失35億2300万円(-)、経常利益25億8600万円(-)、当期純利益15億7900万円(-)であった。

■タリーズ、コーヒー最大24円上げ

タリーズコーヒージャパン(東京・新宿)はコーヒーなど主要メニューを値上げする。コーヒーなどは税別本体価格を3～24円上げる。コーヒー豆の仕入れ価格や物流費の上昇分などを価格に転嫁する。

■サイゼリヤ営業赤字、従来の黒字予想から一転 9～2月

2021年9月～22年2月期の連結決算は、営業損益が4600万円の赤字。従来の10億円の黒字予想から一転、赤字になった。中国を含むアジアは堅調だが、営業時間の規制や人件費負担が重い日本の赤字継続が響く。

■コメダHD、23年2月期純利益9%増 コロナ禍前の水準に

2023年2月期の連結純利益が前期比9%増の53億6千万円になるとの見通し。過去最高となった20年2月期(53億7千万円)に並び、新型コロナウイルス禍前の水準に回復する。積極出店を続けたことが業績につながる。

■クリレスHD、前期最終黒字59億円 下方修正

しゃぶしゃぶ店「しゃぶ菜」などを展開するクリエイト・レストランツ・ホールディングスは、2022年2月期の連結最終損益が59億円の黒字だったと発表した。従来予想から約6億円下方修正した。

■吉野家HD、今期営業益44%増 値上げ・消費回復が寄与

2023年2月期の連結営業利益が前期比44%増の34億円になる見通し。消費回復や合理化、昨年秋の牛丼並盛などの値上げ効果が通期で寄与する。牛肉などの在庫を多く持つ戦略も短期的には有利だ。

■イトアンドHD、2022年2月期(2021年3月～2022年2月)の連結業績

2022年2月期 通期の連結業績を発表。売上高308億8100万円(対前年同期比-)、営業利益8億3400万円(-)、経常利益14億7600万円(-)、親会社株主に帰属する当期純利益7億7300万円(-)であった。

■びっくりドンキー、17品で値上げ、2品で値下げ

株式会社アレフが、ハンバーグチェーン「びっくりドンキー」で4月13日(水)より価格改定を実施する。サイドメニューを中心に17品目で25円～50円(税込)引き上げ、2品目で50～110円(税込)価格を引き下げる。